

今金町

いじめ問題等、未然防止への取組

〈 期 日 〉

- ① 令和5年（2023年）7月、12月 「小学校間学年交流会」
- ② 令和5年（2023年）10月16・17日 「性教育講話」
- ③ 令和5年（2023年）10月20日 「いのちの贈り物」

〈 会 場 〉

- ① 今金町立今金小学校 ②③ 今金町立今金中学校

〈 参加児童生徒数 〉

- ① 町内小学校2校 190名
- ② 町内中学校1校 101名 ③ 町内中学校第3学年 28名



低学年交流「クリスマスリースづくり」

1 事業の概要

今金町教育委員会では、いじめ問題等未然防止に向け関係機関と連携し次の取組を進めている。

- 児童生徒への取組として今金町教育研究会と連携し小学校間交流事業等を実施し、他者理解の力を養う機会を設けている。中学校への円滑な接続を目指す中学校体験活動、乗り入れ授業の推進を働き掛けている。
- 町教委と保健福祉課が連携し、いじめ問題等の根幹にある「他者理解」「健全な人間関係」を基軸とした講演・講話会を町内小・中学校で実施している。
- 学校経営におけるいじめ問題等の未然防止については、各種通知・調査発出時の追加説明、判断基準の一元化など統一のとれた取組を促している。

2 事業の実施に当たって工夫しているポイント

いじめ問題等の未然防止に向けた取組については次の点について工夫して進めてきた。

- 児童生徒の交流事業については、低学年（1・2年）は「スポーツレク」「クリスマスリースづくり」を複数回実施した。中学年（3・4年）は社会科見学を合同で実施した。高学年は体育交流会（キャッチバレー）で交流を深めることで、中学校から同じ教室で活動する「中学校の同級生」という、「仲間意識」を築く場面を多く設定した。
- いじめ問題等の未然防止を内面から支える「健全な心」を培う講演・講話活動は、中学校での保健師や健康アドバイザーによる「性教育講話」（中学校全学年）や今金町国保病院医師による「講話：いのちの贈り物」（中3）において男女尊重、いのちの尊さ、臓器移植など他者理解・他者尊重を講話の軸においていただくよう調整し実施した。
- 各種通知・調査等の発出に係っては、校長会議・教頭会議で教育長から対応についての基本姿勢を示すとともに担当者から調査に係る要領の確認、いじめ等の認知までの流れを示すなど町内が統制のとれた形で対応できるよう教育委員会が調整を進めた。

3 今後の展望

今年度の取組としては、コロナ禍前まで実施してきた事業に修正を加え、全て実施した。今後も新型コロナウイルス感染症への対応と並行しながら更なる取組を充実させたい。

- 町独自の相談員の充実・・・今金町ではふれあい相談員という名称で町教委指導主事が月1回から2回小・中学校で業務にあたっている。今年度は、授業参観を多くとりいれ、日常の児童生徒の様子を把握し、このことを足がかりに教職員との対話に努めている。
- 児童生徒リーダー養成事業・・・令和4年度は、今金町ジュニアリーダーコースを計画していたが実施できず、代替の事業として、今年度は北海道子ども会育成連合会主催の「北海道子どもキャンプ」に参加し、児童生徒リーダーの育成に努めている。